

「花燃ゆ」で前橋市をPR

問い合わせは 文化国際課 ☎027-898-6992



平成27年NHK大河ドラマ「花燃ゆ」。このドラマは、吉田松陰の妹で、初代群馬県令・楢取素彦の妻となる文が主人公です。

「花燃ゆ」推進協議会を設立

6月29日、ぐんま「花燃ゆ」プロジェクト推進協議会を設立しました。これは、山本市長を会長に、県・市町村、関係団体など官民一体となった協議会です。文や楢取素彦など先人の功績を周知し、群馬の魅力を全国に発信。誘客宣伝活動とおして前橋市をPRしていきます。

記念講演・鼎談を開催

同協議会の設立を記念して、6月29日に記念講演と記念鼎談を開催。「花燃ゆ」制作統括・土屋勝裕さんが制作秘話を講演しました。

土屋さんが語る制作秘話（講演より）

時代劇は歴史に詳しくない人にとっては分かりにくいことが多いと思います。歴史に名を残していない普通の人である文の目から時代を見て



制作秘話を講演する土屋さん

いく流れにして、歴史に詳しくない視聴者も文と一緒に歴史を理解していくスタイルになればいいと考えています。

また、文を主人公とすることで、文の生まれた杉家のホームドラマ、松下村塾の若い塾生たちによる学園ドラマ、毛利家の大奥で仕えるキャリアウーマンのドラマ、そして新しい時代をつくっていく男との恋愛ドラマなど、一本の大河ドラマで4度おいしい作品にしたいと思います。

記念鼎談

楢取家第5代当主・楢取能彦さん、県立女子大学長・濱口富士雄さん、前橋市歴史文化遺産活用室長・手島仁が、「伝記からみた楢取素彦、寿子、文」と題して鼎談しました。「吉田松陰の教育を群馬県で実践した」楢取さん、「功德碑から県民が楢取に感謝



記念鼎談する楢取さん(左)、濱口さん(中央)、手島

していたことが分かる」(濱口さん)、「群馬県令として10年間、県民の慈父・悲母のようにあり続けた」(手島)と、それぞれ楢取素彦の功績をたたえていました。

PRロゴを使って一緒に盛り上げよう

ぐんま「花燃ゆ」プロジェクト推進協議会のPRロゴやキャッチコピーが決まりました。

PRロゴ

PRロゴは、2種類。いずれも、花をモチーフにしたデザインです。「文と素彦」というキーワードを入れ、夫婦で力を合わせて群馬の近代化に尽力した姿を表現。活版印刷が普及し始めた時代背景を思わせる文字のざらついた質感が温かみのある風合いを出しています。また、のぼり旗など、さまざまな用途で使われることから、可読性の高い明朝体を採用。縦書きと横書きのデザインがあります。

梅結びに「至誠の人 文と素彦」

縁を結ぶなどの意味をもつ梅結びで、文と素彦の絆を表現。真心や誠実などの意味を持つ「至誠」で、楢取素彦の生きざまや人物像、吉田松陰との精神的なつながりを表しています。

モッコウバラに「文と素彦 絹物語」

モッコウバラの花言葉は、「純潔」。「幼い頃の幸せな時間」という意味もあり、家族愛を描くドラマのイメージ



キャッチコピーは、「時代を拓いた二人。」と「愛つむぐ風のまち。」の2つ。ロゴと組み合わせることにより、さらにPR効果を高めます。

企業なども利用できます

PRロゴとキャッチコピーは、申請をすると、企業なども無料で利用することができま。利用規約や申請方法は観光課(☎027-210-2189)へ問い合わせてください。



前橋市の歴史文化遺産を活用した地域づくりの担い手となる「前橋学市民学芸員」養成講座(第1期)を11月まで開催中。このコーナーでは、既に関催された講座内容の一部を紹介します。第2期は来年1月に開校予定。詳細は決まり次第お知らせします。

問い合わせは 文化国際課 ☎027-898-6992

第2回テーマ 楢取素彦と「花燃ゆ」

講師

前橋市歴史文化遺産活用室長 手島仁

楢取素彦を一言で言えば「幕末維新の志士から名県令、そして前橋市の恩人」といえます。楢取は文政12年(1829)長州(山口県)萩の藩医松島家の次男として生まれまし。12歳で儒者・小田村家の養子となりました。通称は伊之助で、藩校・明倫館で教えるとともに、吉田松陰に信頼され、松下村塾の後事を託されました。

幕末維新の国事に藩主・毛利敬親の懐刀として奔走。九州大宰府で坂本龍馬と出会い、薩長同盟への道を開きました。

明治新政府の「参与」となりましたが、すぐに免官し帰郷。その後再び新政府に仕え、足柄県参事・熊谷県権令・熊谷県令を経て、明治9年第二次群馬県初代県令(知事)とな

りました。熊谷県は埼玉県と群馬県を合わせた大きな県で、養蚕・製糸業が盛んなうえ、狭山茶の産地でした。また、この地域は人々の人情が反骨的で治めることが難しい「難治の県」でした。このような地域で国家財政の基盤を確立する地租改正事業を行うためには、明治政府としては相当の人物を県令に据えなければならなかったことが、楢取が熊谷県令になった理由と思われます。また、教育にも力を入れ、義務教育を理解していなかった当時の県民を説得。有力者には資金を出させ小学校を建設しました。その結果、就学率は全国トップレベルとなり、「西の岡山、東の群馬」と称されました。

在任期間は熊谷県時代を含め10年。本県の基礎をつくり上げました。